

## < アイディア >

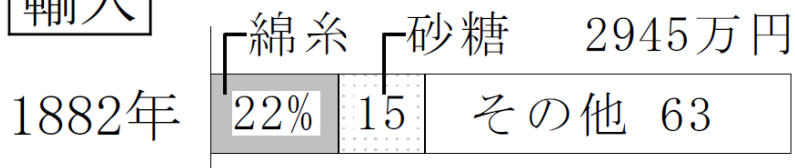
歴史的分野「C(1)ア(Ⅰ)」(近代産業の発展と近代文化の形成)

絵図や統計などの資料から有用な情報を選んで読み取る技能を活用して、明治の産業革命について考察し表現するために使用する資料のアイディア

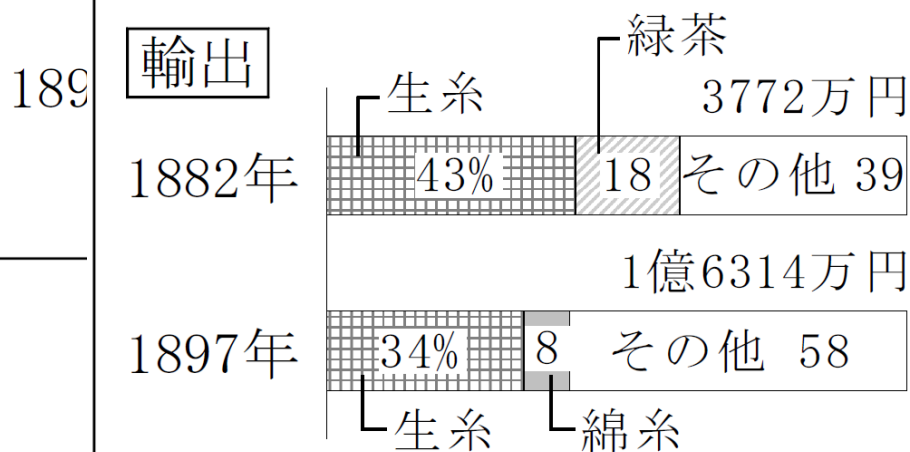
### 【学習問題】

明治時代の産業はどのように発展したのでしょうか。

#### 輸入



#### 輸出



## 本単元に関する学習指導要領の内容

### 歴史的分野「C(1)ア(Ⅰ)」(近代産業の発展と近代文化の形成)

#### C 近現代の日本と世界

##### (1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

##### (Ⅰ) 近代産業の発展と近代文化の形成

我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

### ＜本アイデアのポイント＞

- ・ 紡績・製糸などの軽工業における「機械化」と「輸出入品目の変化」を示す資料から、我が国の産業革命の特色を捉えさせることが期待できます。

資料を15年の「推移」に着目して見ると、日本の産業革命のポイントが読み取れます。



### 【展開例】

- ① 「江戸時代の綿織物の生産の様子」と「明治時代の紡績工場の様子」を比較して分かることを述べ合う。
- ② 本時の学習問題を設定する。
- ③ 「貿易品目の割合の推移」から分かることを記入する。
- ④ 学級全体でまとめに必要なキーワードを検討する。
- ⑤ 三つの資料から分かったことをグループでまとめる。
- ⑥ 学級で話し合う。
- ⑦ 個人で考えを再構成してまとめる。

展開① 「江戸時代の綿織物の生産の様子」と「明治時代の紡績工場の様子」を比較して分かることを述べ合う。

※生徒の活発な意見交換を促すため、二つの資料のタイトルをあえて伏せて提示する。

### 絵図

工場制手工業による綿織物業

(「尾張名所絵図」 国立国会  
図書館蔵より)

### 写真

紡績工場での綿糸の生産

(大阪紡績会社)

※押さえないキーワード

工場制手工業 (マニュファクチュア)      機械化

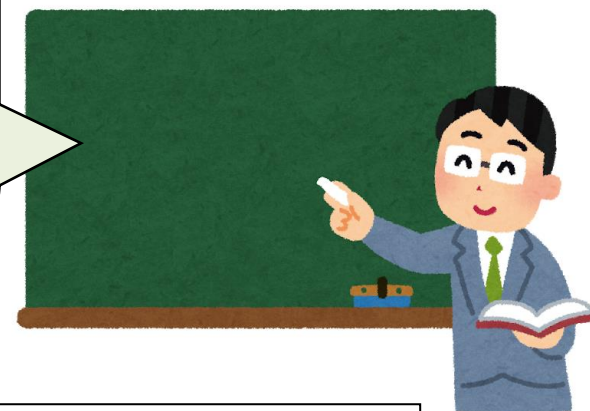
## 展開② 本時の学習問題を設定する。



資料1は「江戸時代の工業の発達」で学習した工場制手工業（マニユファクチュア）の様子だね。

資料2は大きな機械で糸をつくっているように見えるけど…。

明治時代には、産業の様子が大きく変わっていますね。この時間は、別の資料も使って、産業の発展の様子を探っていきましょう。

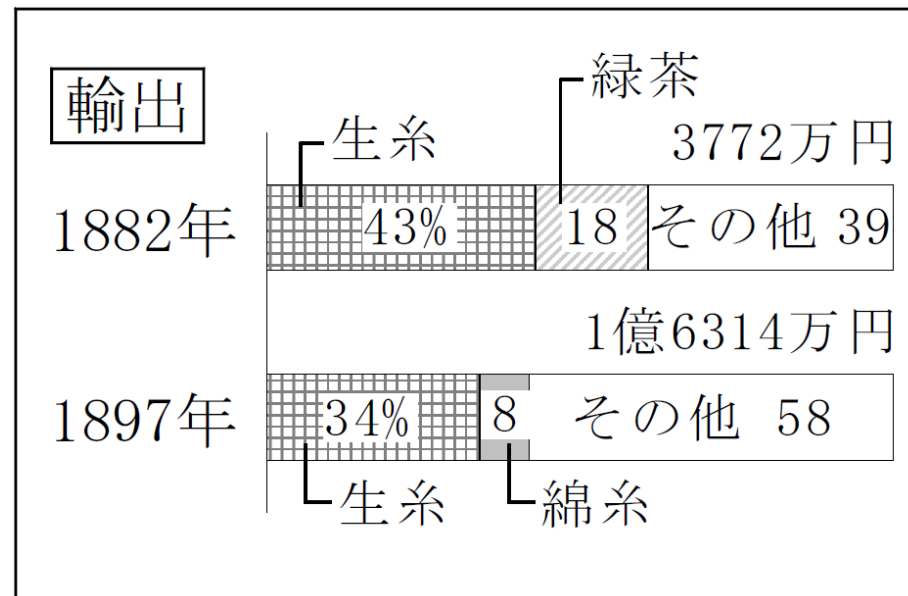
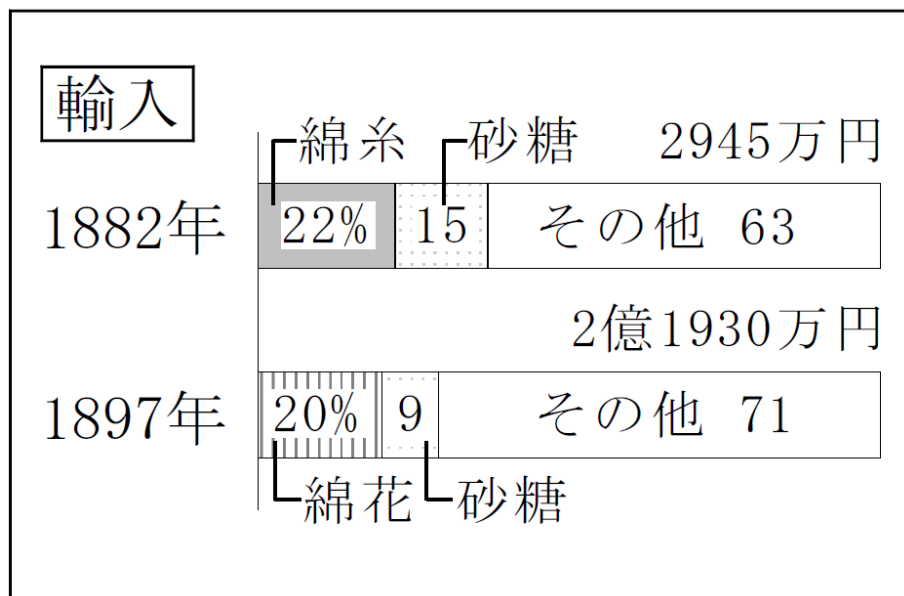


## 【学習問題】

明治時代の産業はどのように発展したのでしょうか。

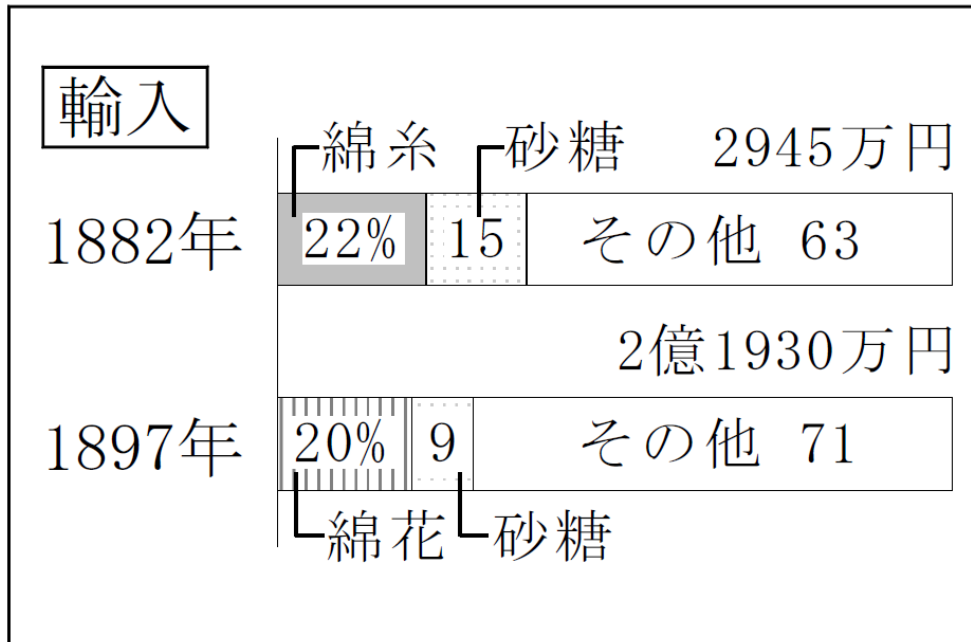
展開③ 「貿易品目の割合の推移」から分かったことを記入する。

### 資料3 「貿易品目の割合の推移」



※「日本貿易精覧」から作成。

展開③ 「貿易品目の割合の推移」から分かったことを記入する。



「輸入」のグラフから読み取れることを学習シートに整理してみましょう。

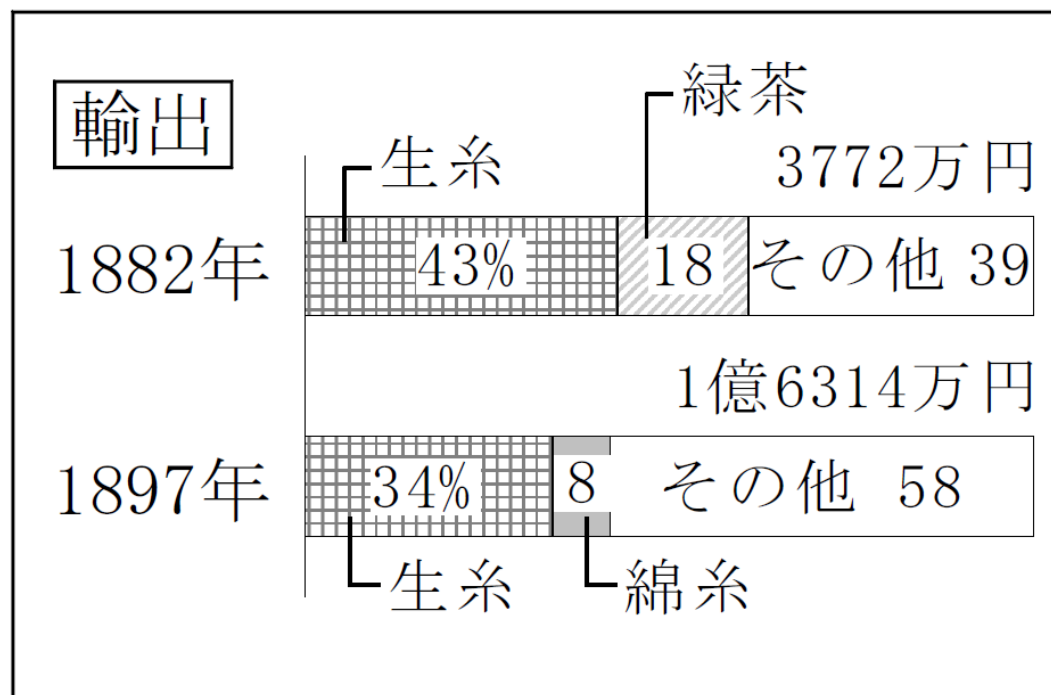


< 輸入のグラフから読み取れること（例） >

- ・ 15年で輸入が大幅に伸びている。
- ・ 1882年には、綿糸を多く輸入していたが、1897年には綿糸の原材料となる綿花を多く輸入するようになった。

展開③ 「貿易品目の割合の推移」から分かったことを記入する。

相変わらず「生糸」は輸出しているけど、「綿糸」も輸出するようになってきているぞ。



<輸出のグラフから読み取れること（例）>

- ・ 15年で輸出も大幅に伸びている。
- ・ 生糸は、1882年でも1897年でも輸出している。
- ・ 1897年には、綿糸を輸出するようになってきている。



展開③ 「貿易品目の割合の推移」から分かったことを記入する。

「輸入」と「輸出」のそれぞれから読み取ったことを関連付けると、どんなことが言えますか。学習シートの「分かったこと」に書きましょう。

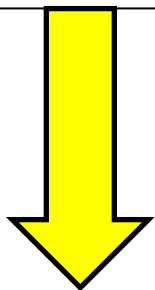


<関連付けて分かること（例）>

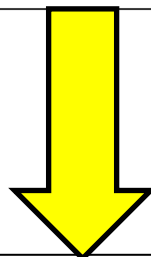
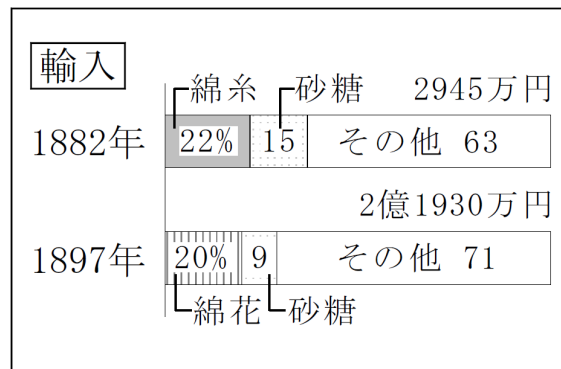
- ・綿糸の原材料である綿花を輸入し、加工して綿糸にして輸出するようになった。
- ・1882年には綿糸を輸入していたが、1897年には輸出するようになっていく。

展開④ 学級全体でまとめに必要なキーワードを検討する。

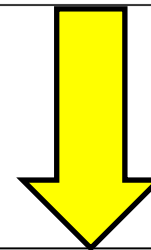
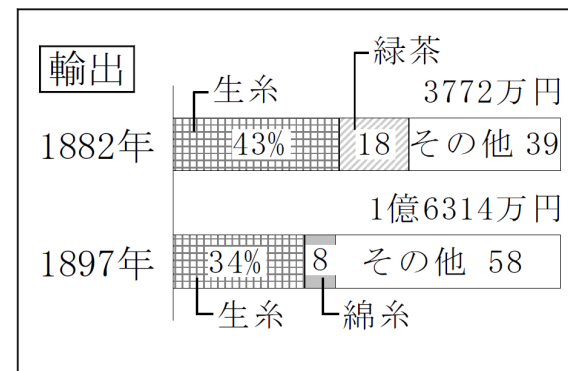
写真  
(大阪紡績工場)



紡績  
製糸  
機械化  
軽工業  
...



綿糸を輸入  
↓  
綿花を輸入  
...



綿花を加工  
↓  
綿糸を輸出  
...

展開⑤ 三つの資料から分かったことをグループでまとめる。

<グループの考え（例）>

明治時代になると，日本でも紡績・製糸などの軽工業を中心に機械化が進んだ。そして…。

1人ずつ考えを発表してから，共通しているところを整理してみよう。

明治時代になって「機械化」が進んだところまでは分かるけど…。

資料3から分かったことを，簡潔にまとめたいな。



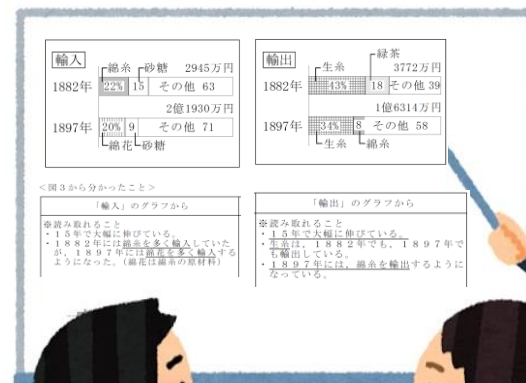
## 展開⑥ 学級で話し合う。

### <学級の意見交換で気付いたこと（例）>

- ・ どのグループも，機械化を入れてまとめている。
- ・ 「産業革命」をキーワードに加えたい。
- ・ 綿花を輸入し，「加工」して綿糸にして輸出するようになったことがポイント。

僕たちのグループにはない視点を入れてまとめているグループもあるけど，どっちがまとめにふさわしいのかな。

もう少し，まとめを短く簡潔に表せないかな。



## 展開⑦ 個人で考えを再構成してまとめる。

### <まとめ（例）>

明治時代になると，日本でも紡績・製糸などの軽工業を中心に機械化が進み，原材料を輸入し，製品を輸出するようになるなど，産業革命が進展した。

まとめにくい学習問題のときには，生徒の実態に応じて，書き出しを指定したり，最も大切な部分だけを書かせたりするなどの支援を工夫をしましょう。



## 受講者の感想

- 機械化の時代ごとの変化から導入とし、グラフで変化に気付かせるなど、資料を巧みに活用していろいろと考えさせる。資料の精選と出し方の大切さを感じた。
- なかなか扱いづらいつころなので、よいアイデアだと思う。重化学工業も合わせて1時間やると効率よくできると思う。
- 絵の比較とグラフを関連付けることができるところがよいと思いました。特にグラフは、見てほしいところをクローズアップしているので資料集のよりも比較しやすかったです。
- 二つの資料を提示し、それを比較させ、そこから広げていき、機械化が進んでいったということを理解させる。導入の部分がいかに大切か分かった。